

解
禁

新聞・テレビ・ラジオ
平成19年11月9日

辺野喜ダムで最大の流入量を記録！

記者発表資料

平成19年11月8日に降り出した雨が国管理7ダム周辺の多いところで合計約220mm、最大時間雨量124mmを記録しました。

今回の大雨で、辺野喜ダムと普久川ダムでは一時的に水を貯めること（「洪水調節」といいます。）でダムが無かった場合に比べて、下流の流量を約95%以上低下させることができたと推測されます。

特に辺野喜ダムは、管理開始以降最大の流入量（131トン/秒）を記録しました。

今後も大きな降雨があった場合など適宜情報提供させていただきます。

平成19年11月9日

内閣府

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課 管理係長 町田 宗久

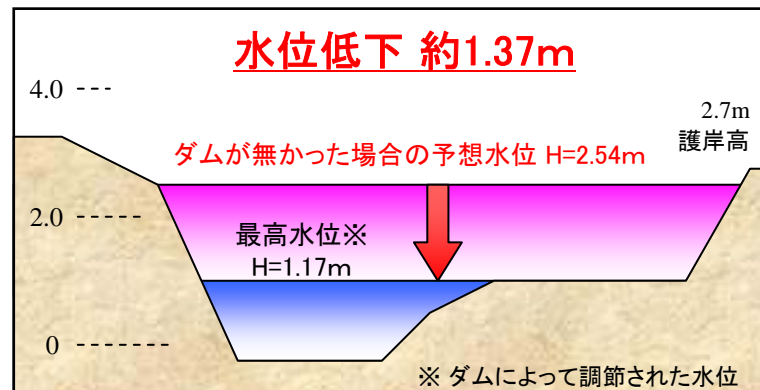
電話番号 098-866-0031 (代表) 内線 3771
098-862-0232 (直通)

〒900-8530 那覇市前島二丁目21番地7号

辺野喜ダム・普久川ダムの洪水調節効果について (平成19年11月8日)



辺野喜ダム下流河川(下辺野喜)における洪水調節効果



辺野喜ダム 越流の状況

<概要>

辺野喜ダムでは、8日21時頃から降り出した雨が23時00分までに累計158mmに達し、**ダムへの流入量が131トン/秒**となりました。これは、辺野喜ダムの管理開始(S58)以来**最大量**を記録しました。

辺野喜ダムは、**最大127トン/秒の水を一時的に貯留し**、ダムが無かった場合と比べて**下流河川の水位を約1.37m(流量で97%)低下**させたものと推測されます。(ダム下流2km地点:下辺野喜付近)

また、普久川ダムでは流入量が**160トン/秒あり**、**最大152トン/秒の水を一時的に貯留し**下流河川の水位を約**0.85m(流量で95%)低下**させた(ダム下流3km地点:下普久川付近)ものと推測され、洪水調節効果を発揮しました。